

日本のペット文化

動画リンク：<https://youtu.be/tRiLD1nFoKU>

今回は「日本のペット文化」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速くなり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

■私のこと

私の名前は山田光です。私は東京の小さい町に住んでいます。
今、私の家には小さい犬がいます。名前はココで白いポメラニアンです。子犬のときにペットショップで出会いました。朝と夕方にいっしょに歩きます。休みの日は、いっしょにこうえんにも行きます。

子どものとき、家には犬もねこもいませんでした。でも、友だちの家で見たねこがとてもかわいくて、その日からペットにきょうみを持つようになりました。
さいしょは「ペットは動物」だと思っていました。でも、いっしょにくらしていく中で、気もちがかわってきました。かなしい日にはココがそばにいてくれて、元気が出ました。ココが私を見てしっぽをふると、心があたたかくなります。今では、ココは私の大切なかぞくです。

■人気のある動物たち

日本では、小さい犬やねこがとても人気です。町を歩くと、小さな犬をつれている人をよく見ます。アパートやマンションに住んでいる人が多いので、小さい動物の方がくらしやすいのです。

中でも人気のある犬は、チワワやトイプードルです。チワワは体がとても小さくて、手でだくことができます。声も小さく、しずかな場所でもくらしやすいです。トイプードルは、毛がぬけにくいので、へやがよごれにくいです。見た目もかわいくて、子どもにも人気です。

日本の犬でよく知られているのは、しば犬です。しば犬は、体が少し大きいですが、かしくて、家の人になつきやすいです。しば犬の毛はふわふわしていて、さわると気もちがよいです。かおがまるくて、しっぽがまるまっているのも、かわいいと人気です。

ねこもとても人気があります。ねこは、あまりなかつ、しずかにすごせるので、アパートでかいやすいです。中でもスコティッシュフォールドやアメリカンショートヘアがよく見られます。スコティッシュフォールドは、耳が小さく、下をむいているのがとくちょうです。アメリカンショートヘアは、体のもようがはっきりしていて、きれいな見た目が人気です。

犬やねこだけでなく、ハムスターやウサギも人気です。これらの動物は小さなかごでかうことができます。食べものも少しでよいので、世話がしやすいです。フェレットやとかげなど、あまり見かけない動物を飼っている人もいます。

■ペットといっしょにくらすために大切なこと

日本では、アパートやマンションに住んでいる人が多いです。そのため、犬やねこくらすには、いくつかの大切なことを考えなければなりません。まず、音の問題があります。犬が大きな声でなくと、近くの人にとってじゃまになります。そこで、小さい声の犬をえらんだり、ほえる時間をへらすしつけがひつようです。夜に大きな音を出すのは、トラブルのもとになります。

つぎに、おおいのことも大切です。ペットのおいは人によって気になることがあります。とくにねこや犬のトイレのおいは、毎日きれいにしないと、へやににおいがのこってしまいます。きれいにすることは、ペットのけんこうにもよいです。

また、トイレのしつけも大事です。まちがった場所ですてしまうと、へやがよごれてしまいます。子どものときから、きまった場所でトイレをするように教えることがひつようです。おやつやことばで、よくできたときにほめることが大事です。

ペットがきらいな人や、動物アレルギーがある人もいます。アレルギーとは、動物の毛やにおいで、くしゃみやせきが出ることです。自分は大丈夫でも、近くに住んでいる人がこまることもあります。そのため、ペットをかう前に、まわりの人のことも考えることが大切です。

さいごに、ペットをかうということは、毎日世話をすることです。食べものや水をあげたり、体をきれいにしたりするひつようがあります。仕事や学校でいそがしい人は、ペットのための時間があるかどうかを考えることがだいじです。

■どうやってペットと^{であ}出会う？

日本では、ペットショップで犬やねこを^か買う^{ひと}人が多いです。町の中には、ペットショップがたくさんあります。まどから見える小さい犬やねこは、とてもかわいくて、たくさんの人が見に来ます。ペットショップでは、すぐに犬やねこを家につれて帰ることができます。

しかし、さいきんでは、ちがう^{であ}出会い^{いえ}かたもふえています。それは、「ほごしせつ」という場所です。ほごしせつでは、家のない動物たちをあずかっています。中には、もとの家^{ひと}の人にすてられた犬やねこもいます。

このような動物たちに、新しい家^{あた}をさがすのが「さとおや制度」です。さとおやとは、すてられた動物^{どうぶつ}を家^{いえ}にむかえ、さいごまで世話を^{せわ}する^{ひと}人のことです。さとおやになるには、かんたんな話を聞いたり、動物との生活について勉強したりすることもあります。それは、動物を大切に^{どうぶつ}するためです。

町の中には、「ほごねこカフェ」もあります。そこでは、カフェでお茶をのんだりしながら、ねことあそぶことができます。その中から気に入ったねこがいたら、さとおやになることもできます。カフェでは、ねこのせいかくやすきなことがよくわかるので、自分^{じぶん}に合った動物^あをえらびやすいです。

ペットショップとちがい、さとおや制度ではお金^{せいで}がかからないこともあります。でも、それよりも大切なのは、「この動物^{どうぶつ}をさいごまで大切に^{たいせつ}する」という気もちです。ペットとの出会いは、生活を大きくかえます。どこで出会ったかではなく、どうやってくらししていくかがいちばん大切です。

■ペットのけんこうと生活^{せいかつ}

ペットといっしょにくらすには、毎日^{まいにち}の世話を^{せわ}がひつようです。人と同じように、ペットも体^{からだ}のけんこうや心^{こころ}のしんぱいがあります。

まず、毎日^{まいにち}の食べものと水^{みず}が大切です。朝と夕方に食べものをあげる人が多いです。犬やねこには、それぞれに合った食べものがあります。人が食べるものをあげると、病気^{びょうき}になることがあります。食べすぎにも注意^{ちゅうい}がひつようです。水も、いつでも飲めるようにしておくことが大事^{だいじ}です。

つぎに、体^{からだ}をきれいにすることも大切です。犬やねこは毛^けがぬけるので、毎日^{まいにち}ブラシを使って手入れをします。体^{からだ}がよごれたときは、ぬるま湯でやさしくあらいまします。体をきれいにすると、ペットも気もちよくすごせます。

けんこうのために、病院でのけんさもひつようです。とくに犬は、「きょうけん病」という病気になるように、よぼうのちゅうしゃをうけることが決まっています。これは「きょうけん病よぼうほう」という法律で決められています。年に一度、しんさつをうけて、ペットのけんこうをたしかめることがだいじです。

犬を飼っている人は、「とうろく」をすることも大切です。とうろくをすると、名前や住所がきろくされます。犬がにげてしまったときにも、とうろくをしていれば、見つけやすくなります。

また、けがや病気にも気をつけるひつようがあります。毎日ペットのようすをよく見て、「いつもとちがう」と思ったら、すぐに病院に行くことが大切です。食べない、ねてばかりいる、なきかたがちがうなどのサインを見のがさないようにします。

■ペットのためのサービス

日本には、ペットとくらす人のためのサービスがたくさんあります。ペットの生活をもっと楽しく、すごしやすくするためのサービスです。

まず、多くの人利用しているのが「トリミングサロン」です。ここでは、犬やねこの毛を切ったり、体をあらったりしてくれます。プロの人があつかうので、安全にきれいにしてもらえます。中には、リボンをつけたり、きせつに合ったカットをしてもらえる所もあります。

つぎに「ペットホテル」があります。仕事や旅行で家をはなれるとき、ペットをあずける場所です。毎日、食べものや水をあげたり、あそんでくれたりするので、安心して出かけることができます。中には、カメラがあって、スマートフォンでペットのようすを見られる所もあります。

最近では、「ペットといっしょに行けるカフェ」もふえています。食事をしながら、犬とすごすことができる場所です。店の中に犬のメニューがある所もあり、いっしょに食事をたのむ人もいます。しずかにすごせる犬であれば、ほかの人のじゃまにならず、ゆったりすごせます。

こうえんの中には、「ドッグラン」がある場所もあります。ドッグランは、犬がリードなしであそべる広い場所です。とくにアパートに住んでいる人にとっては、犬が自由に走れる時間はとても大切です。ほかの犬といっしょにあそぶことで、犬も楽しくすごせます。

ほかにも、ペット用の病院や、ペット用品を売っている店などがあります。おもちゃ、服、ベッドなど、いろいろな物がそろっています。中には、たんじょう日ケーキを売っている店もあります。

■ペットは大切なかぞく

日本では、ペットを「動物」としてではなく、「かぞく」として大切にする人がふえています。ペットは、話すことはできませんが、気持ちをつたえてくれます。いっしょに過ごす時間が長くなるほど、その思いは強くなります。

ある日、つかれて家に帰ると、犬がしっぽをふってむかえてくれました。そのとき、私は一人ではないと気づきました。ペットがいることで、心があたたかくなる人はたくさんいます。

最近では、ペットの服を買う人もいます。冬はさむいので、犬に上着を着せる人もいます。おしゃれな服を着て、まちを歩く犬のすがたは、よく見られます。服をえらぶのも、かぞくのような楽しみの一つです。

たんじょう日をお祝いする人もいます。ケーキやおもちゃを買って、写真をとる人もいます。人と同じように、ペットにも「おめでとう」を言いたい、という気持ちです。

また、ペットの写真を毎日とる人も多いです。かわいいしぐさや、ねているすがたをとって、アルバムにする人もいます。その写真を、インターネットにのせている人もいます。

ペットといっしょに過ごすじかんは、何でもない日でもとくべつなものになります。朝いっしょに起きて、夜いっしょにねる。そんな毎日が、しあわせにつながります。

ペットがいることで、生活はかわります。たくさんの世話がひつようですが、それ以上にたくさんのあいをもらうことができます。だからこそ、ペットはただの動物ではなく、大切なかぞくなのです。

■年をとった人とペット

日本では、年をとった人がふえています。子どもが大きくなって家を出たあと、一人でくらす人も多くなりました。そんな中で、ペットといっしょにくらす人がふえています。

ペットがいると、毎日することができます。朝はごはんをあげたり、さんぽに行ったりします。話すことが少ない生活の中で、ペットに話しかけるだけでも、心が楽になります。さびしい気持ちがへると、毎日が楽しくなります。

また、ペットのために、体を動かすこともふえます。犬とさんぽをすることで、けんこうにもよいです。自分の生活のリズムもよくなります。毎日が楽しみになることで、気持ちも明るくなります。

しかし、年をとると、体が動きにくくなることもあります。病氣やけがで、世話がむずかしくなることもあります。ペットが長く生きると、さいごまで世話をにつづけることができないかもしれません。

そのため、ペットをかう前に、さいごまで世話ができるかをよく考えることが大切です。ペットは、人のかわりに生活することはできません。

また、ペットがなくなったあとに、とてもさびしくなる人もいます。これを「ペトロス」と言います。ペトロスになると、何もしたくなくなったり、ねむれなくなったりすることもあります。

でも、それはペットを大切に思っていたあかしでもあります。たくさんの思い出があるからこそ、さびしいのです。だれかに話をきいてもらったり、写真を見て思い出したりすることで、少しずつ気持ちも楽になります。

年をとった人とペットのくらしには、よいこともたいへんなこともあります。でも、たがいに大切に思うことで、あたたかい毎日をすごすことができます。

■日本と外国のちがい

日本でのペットのくらし方は、外国とちがうところがいくつかあります。そのちがいを知ると、日本の文化や生活がもっとよくわかるようになります。

まず、日本では家の中でペットをかう人がとても多いです。犬もねこも、家の中でいっしょにすごすことが多いです。外でつなぐことは少なくなっています。雨や雪がふっても、家の中なら安心です。

一方、外国では外で犬をかうことが多い国もあります。広いにわがある家も多く、犬は外でのびのびとすごします。とくに大きな犬は、たくさん体を動かすことが大切なので、広い場所が必要です。

また、日本では、犬にリードをつけてさんぽすることがきまりになっています。リードをつけないと、まわりの人にこわい思いをさせたり、けがをさせたりすることがあります。そのため、町の中ではリードをつけて歩くのがふつうです。

外国では、場所によってはリードがいらない所もあります。犬がよくしつけられていて、人にとびついたりしないと分かっているれば、自由に歩かせてもよいとされる場合もあります。

日本では、ペットは「動物」ではなく「かぞく」として考えられることが多くなってきました。ペットのけんこうを大切にしたり、服やベッドを用意したり、写真をアルバムにしてのこしたりする人も多いです。

外国でもかぞくのように大切にする人はたくさんいますが、ペットに服をきせたり、たんじょう日をいったりする文化は、日本の方がさかんかもしれません。

また、日本ではペットを買う人が多いですが、外国では「ほご動物」をむかえることがふつうになっている国もあります。動物を大切にする気もちのあらわし方は、国によってちがいます。

このように、ペットとのくらし方は、国や文化によってちがいます。でも、どの国でも、ペットを大切に思う気もちは同じです。

■ペットといっしょに楽しくくらすために

ペットといっしょにくらすことは、とても楽しいことです。でも、その楽しさの中には、大切なやくそくもあります。

ペットは言葉が話すことができません。でも、目やしっぽの動き、なきごえなどで気もちをつたえてくれます。こわい、うれしい、さびしいという思いを、よく見てあげることが大切です。ペットの気もちを考えて行動することで、しんらいがふかまります。

仕事や学校でいそがしい日でも、少しの時間をペットのために使うことが大切です。いっしょにあそんだり、なでたりするだけでも、ペットはとてもよろこびます。ペットにとっては、その時間がいちばんうれしいのです。

また、ペットといっしょにくらすことで、人も成長することができます。たとえば、毎日きまった時間に世話をするので、自分の生活にもきそくが生まれます。いのちを大切に作る気もちも、強くなっていきます。

ペットとすこす生活の中には、たいへんなこともあります。病気になったり、ねむれない夜があったりするかもしれません。でも、そのぶん、たくさんのしあわせもあります。すなおなあいをうけとることができるのは、ペットとくらす中でしかできないたいけんです。

いのちあるものといっしょにくらすということは、とてもすばらしいことです。ペットと人が、これからも楽しくくらせる社会になるように、みんなで考えていけたらよいですね。

「^{にっぽん}日本の^{ぶんか}ペット文化」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の^{べつ}動画^{どうが}でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI